

エコアクション21

環境経営レポート

2023（令和5）年度版

対象期間：2023年4月～2024年3月



JCA ジェム力株式会社

発行日：2024（令和6）年 6月19日

目次

環境経営方針	P2
1 組織図	P3
2 事業の概要	P4-5
3 施設等の概要	
(1)施設設置許可の概要	P6
(2)設備概要	P7
(3)処理工程図①②	P8-9
(4)収集運搬車両一覧及び積替え保管施設	P10
(5)受託した廃棄物の処理量	P11
4 今年度及び中長期環境目標	P12
5 環境活動計画	P13-14
6 環境目標実績	P15
7 環境活動計画の取組結果と次年度の取組内容	P16-19
8 代表者による全体の評価と見直し	P20

環境経営方針

基本理念

当社は廃棄物の処理業務を行うにあたり、当初から地球環境の保全を最優先にシステムの構築と運営に取り組んできたところであります。

近年、社会の環境問題に対する考え方は、より積極的なものへと大きく変化しており、企業運営においても最も重要な要素として位置付けていく必要があります。

環境ビジネスに携わる企業として、ここに「EA21」の導入を宣言し、関連する環境関連法規や条例等を遵守し、更なる環境保全意識の向上を目指して事業活動に取り組んでいきます。



施設全景

基本方針

ジェムカ株式会社は、環境経営に積極的に取り組むために、システムを構築・運用し環境負荷の低減を継続的に推進し、事業活動のあらゆる分野で環境に配慮した行動に努めます。

1 CO2の削減（課題・チャンス）

節電を励行するとともに、各工程における効率的なエネルギー使用を推進します。

社員に環境教育を行い継続的な環境保全意識の向上に努め、環境理念・環境方針の周知徹底を図ると共に一般にもその情報を開示します。

2 一般廃棄物の削減

常に環境に配慮しつつ有用な資源の回収・選別を行いリサイクルの向上に努め環境に配慮した事業活動を行います。

3 水使用量の削減

節水に努め、効率的な水使用量を推進します。

4 法規の遵守

国、地方自治体の定める法、規則、条例を遵守し、地域社会との融和を重んじ、産・官・民の一体化を目標とし、その関係の保持に最大の努力をします。

5 地域社会との融和

地域社会との環境コミュニケーションを良くし、地域の環境保全、環境美化に努めます。

不法投棄された廃棄物の自主的な回収、処分により地球環境の向上、維持に努めます。

この環境経営方針は、従業員全員に周知すると共に、研修や教育を行い全従業員の環境保全に向けた意識の向上に努め、広く一般に公表いたします。

平成26年 4月 1日制定

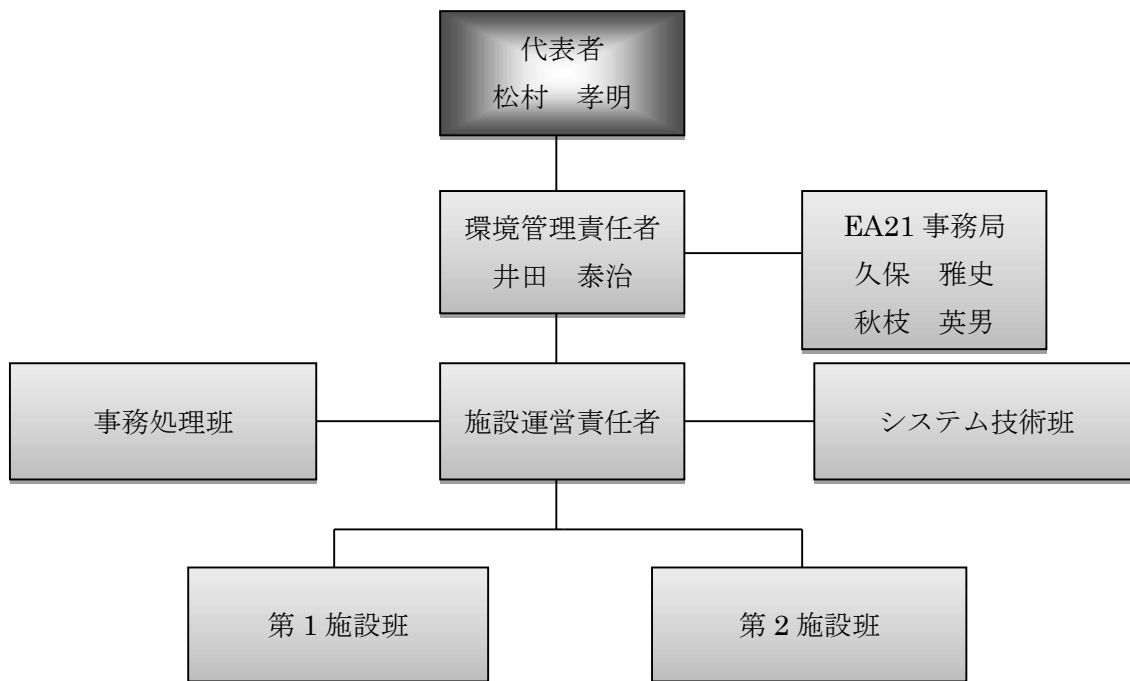
平成26年11月 4日改訂

令和 2年 6月25日改訂

ジェムカ株式会社 代表取締役 松村孝明

1 組織図

エコアクション21取組体制



代表者	環境経営に関する統括責任 環境方針を定め組織が取り組む方向性を明示しすべての従業員に周知する 環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間能技術者を用意
環境管理責任者	実質的な環境活動の管理・監督を統括する 環境経営システムを構築し実施し管理する 環境活動の取組結果を代表者へ報告
EA21 事務局	環境方針に基づく具体的な取り組み方針や目標の策定等行い説明・指導等 環境活動の総合指揮を行う
施設運営責任者	施設運営に係る環境活動の総合指揮を行う
第1施設班	廃棄物の受け入れ・前処理及び収集運搬に係る環境監視を行う
第2施設班	熱利用焼却の運転管理に係る環境監視を行う
システム技術班	工場全体のシステム機能に係る環境監視を行う
事務処理班	周辺地域や社内の要望や改善提案等の意見集約を図り環境負荷の把握や評価に努め環境活動の推進を行う

2 事業の概要

(1) 名称及び代表取締役

ジェムカ株式会社

代表取締役 松村 孝明

(2) 法人設立年月日 資本金

平成 26 年 10 月 3 百万円

(3) 所在地

〒758-0211

山口県萩市大字福井上字萩ノ浴 2 7 7 3 番 1

(4) 環境管理責任者及び担当者氏名並びに連絡先

環境管理責任者 専務取締役 井田 泰治

環境管理担当者 業務部 部長 久保 雅史

業務部業務課 係長 秋枝 英男

TEL (0838) 52-0170

FAX (0838) 52-0179

E-mail m-kubo@jmca-hagi.net

(5) 事業内容

産業廃棄物処理業（収集運搬・中間処理） 一般廃棄物処理業（中間処理）

(6) 事業規模

活動規模	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
処理量	t	16,716	14,471	13,211	13,207
収集運搬量	t	452	590	559	477
リサイクル化量	t	16,714	14,471	13,210	13,206
売上高	百万円	795	745	695	750

従業員 37 名

第1施設	工場敷地面積	9,948 m ²	第2施設	工場敷地面積	3,822.05 m ²
	建物面積	3,657.36 m ²		建物面積	668.498 m ²
	延床面積	4,939.98 m ²		延床面積	944.029 m ²

(7) 事業年度 4 月～3 月

認証・登録の対象範囲

(1) 対象事業者名 ジェムカ株式会社

(2) 対象事業所 本社・工場

(3) 対象活動 全組織・全活動

産業廃棄物及び一般廃棄物許可登録の概要

許可内容

産業廃棄物収集運搬

産業廃棄物収取運搬業			許可項目（事業の範囲）																			その他		
都道府県及び政令都市	許可の年月日及び有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	陶磁器くず	ガラス・コンクリートくず	鉄くず	がれき類	ダスト類	13号廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	積替え保管施設の所在地及び面積許可の条件
山口県	令和元年10月2日 令和6年10月1日	第03509179845号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	積替え保管なし 許可の条件なし
広島県	令和元年10月27日 令和6年10月26日	第03400179845号		●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●	●					積替え保管なし 許可の条件なし
島根県	令和元年10月3日 令和6年10月2日	3200179845		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●			●	●	●	●				積替え保管なし 許可の条件なし
大分県	令和3年12月1日 令和8年11月30日	4408179845	●	●				●		●	●	●		●	●	●								積替え保管なし 許可の条件なし

特別管理産業廃棄物収集運搬

特別管理産業廃棄物収取運搬業			許可項目（事業の範囲）																				その他	
都道府県及び政令都市	許可の年月日及び有効年月日	許可番号	廃油	感染性産業廃棄物																				積替え保管施設の所在地及び面積許可の条件
山口県	令和元年10月2日 令和6年10月1日	第03559179845号	●	●																				積替え保管なし 許可の条件なし
広島県	令和元年10月27日 令和6年10月26日	第03450179845号	●	●																				積替え保管なし 許可の条件なし
広島市	令和6年6月6日 令和11年6月5日	第07360179845号	●	●																				感染性のみ積替え保管有 住所は許可証の通り
島根県	令和元年10月3日 令和6年10月2日	3250179845		●																				積替え保管なし 許可の条件なし

産業廃棄物処分業

産業廃棄物処分業			許可項目（事業の範囲）																			その他			
中間処理	許可の年月日及び有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	陶磁器くず	ガラス・コンクリートくず	鉄くず	がれき類	ダスト類	13号廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	積替え保管施設の所在地及び面積許可の条件	
破 砕	令和元年11月4日 令和6年11月3日	第03529179845号						●	●	●	●	●						●						許可の条件なし	
焼 却			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●	許可の条件なし
破砕・圧縮梱包									●	●	●	●	●		●										許可の条件なし

特別管理産業廃棄物処分業

特別管理産業廃棄物処分業			許可項目（事業の範囲）																			その他		
中間処理	許可の年月日及び有効年月日	許可番号	廃油	感染性産業廃棄物																				積替え保管施設の所在地及び面積許可の条件
焼 却	令和元年11月4日 令和6年11月3日	第03579179845号	●	●																				許可の条件なし

一般廃棄物処理業

一般廃棄物処理業			許可項目			その他（許可条件）
中間処理	許可の年月日及び有効年月日	許可番号	塵芥			・年4回ジェムカ㈱の責任において水質検査を実施し、萩市に報告すること。 ・搬入時間は平日午前8時30分から午後5時、土曜日は午前8時30分から午後2時30分までとする。 ・萩市外の事業系一般廃棄物を搬入する場合は、搬入予定日の1週間前までに別紙事業系一般廃棄物処理計画書を市へ提出し必要がある場合には市と協議すること。 ・事業系一般廃棄物の搬入量を別紙により報告すること。 ・他自治体からの一般廃棄物の搬入及び処理の際には搬入方法及び搬入経路を事前に萩市へ通知し、別紙の適正な環境整備を目的とした三者協定を締結すること。
焼 却	令和5年4月1日 令和7年3月31日	廃許第 1 号	●			

3 施設等の概要

JMA ジェムカ株式会社

(1) 廃棄物処理の許可

■ 産業廃棄物処理施設設置許可

破砕施設(2軸スクルー式)	: 処理能力【20t/日】	山口県第93号の17	・平成 6年 3月
破砕施設(2軸剪断式)	: 処理能力【20t/日】	山口県第94号の12	・平成 6年12月
汚泥の焼却施設	: 処理能力【90t/日】	山口県第99号の10	・平成13年12月
廃油の焼却施設	: 処理能力【90t/日】	山口県第99号の10	・平成13年12月
廃プラスチック類の焼却施設	: 処理能力【90t/日】	山口県第99号の10	・平成13年12月
産業廃棄物の焼却施設	: 処理能力【90t/日】	山口県第99号の10	・平成13年12月
廃プラスチック類の破砕施設	: 処理能力【60t/12時間】	山口県第35号の1	・令和元年7月
がれき類の破砕施設	: 処理能力【172t/12時間】	山口県第35号の1	・令和元年7月

■ 一般廃棄物処理施設設置許可

ごみ処理(破砕施設1)	: 処理能力【20t/日】	山口県指令生活衛生第1198号	・平成 8年 1月
ごみ処理(破砕施設2)	: 処理能力【20t/日】	山口県指令生活衛生第1199号	・平成 8年 1月
ごみ処理(圧縮減容施設)	: 処理能力【40t/日】	山口県指令廃棄物対策第318号	・平成10年 9月
ごみ処理(焼却施設)	: 処理能力【90t/日】	山口県指令廃リ対策第504号	・平成13年12月

■ 産業廃棄物処分業許可

中間処理(破砕、焼却、破砕・圧縮梱包)
: 第03529179845号

■ 特別管理産業廃棄物処分業許可

中間処理(焼却)
: 第03579179845号



(2) 設 備 概 要

破碎設備

2.5 t / h × 2 基

焼却設備

ロータリーキルン&ストーカ焼却施設

90 t / 日 × 1 基

受入貯留ピット

830 m³ (3 槽)

バケット式供給クレーン

2.7 t × 1 基

感染性廃棄物供給装置

1 t / h × 1 基

重油受入タンク

15 m³ × 1 基

廃液受入タンク

15 m³ × 1 基

廃油受入タンク

2 m³ × 1 基

廃熱ボイラー2.25MPa

5.8t / h × 1 基

上水タンク

10 m³ × 1 基

復水タンク

20 m³ × 1 基

蒸気コンデンサ

8.5t / h × 1 基

バグフィルタ

50,000 m³ N / h × 1 基

煙突

30m × 1 基

ダスト・重金属固定装置

一式

蒸気発電機

一式

破碎・圧縮梱包設備

破碎施設

5 t / h × 1 基

圧縮梱包設備

11 t / h × 1 基

その他

バケット式クレーン設備

2 t × 2 基

トラックスケール

40 t × 1 基

脱臭システム設備 薬洗脱臭

69,000 m³ / h × 1 基

クローズド化水処理システム設備

250 m³ / 日 × 1 式

処理水受入タンク

45 m³ × 3 基

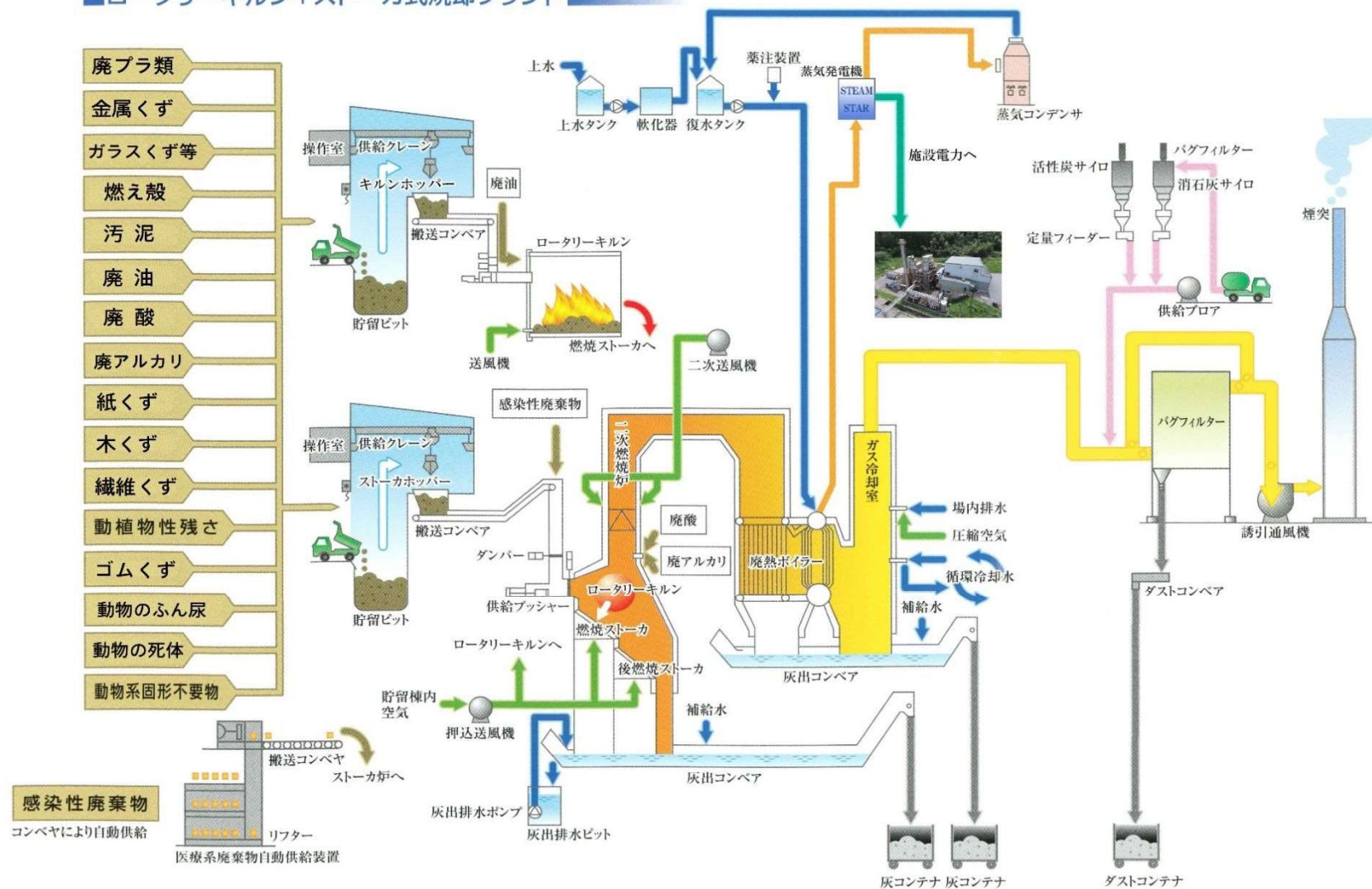
2 m³ × 1 基

受電設備

3,000KVA × 1 式

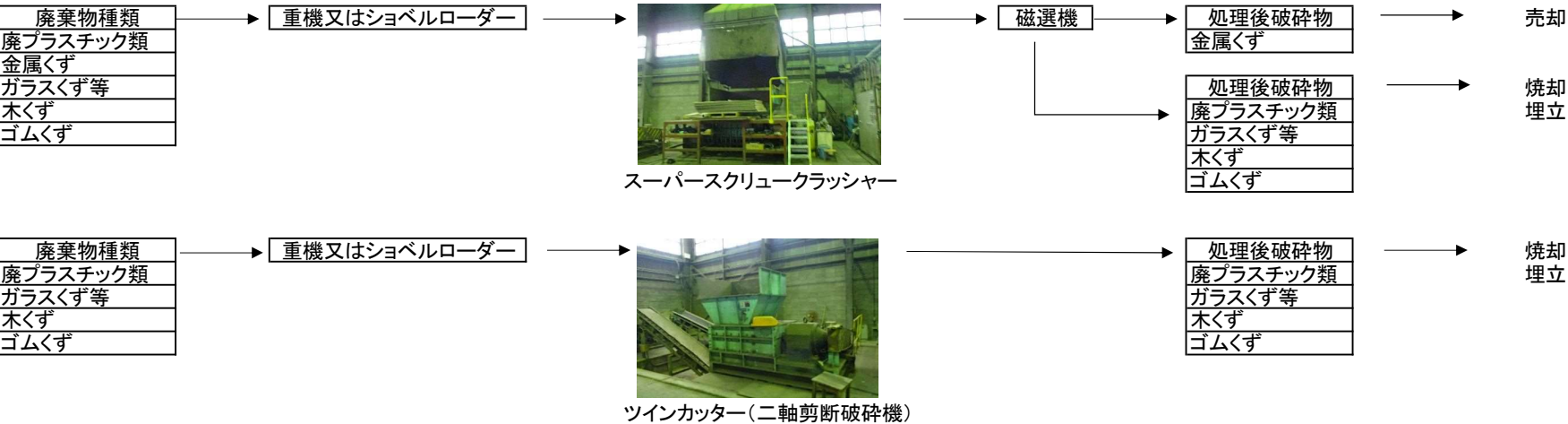
(3)処理工程図①

■ロータリーキルン+ストーカ式焼却プラント

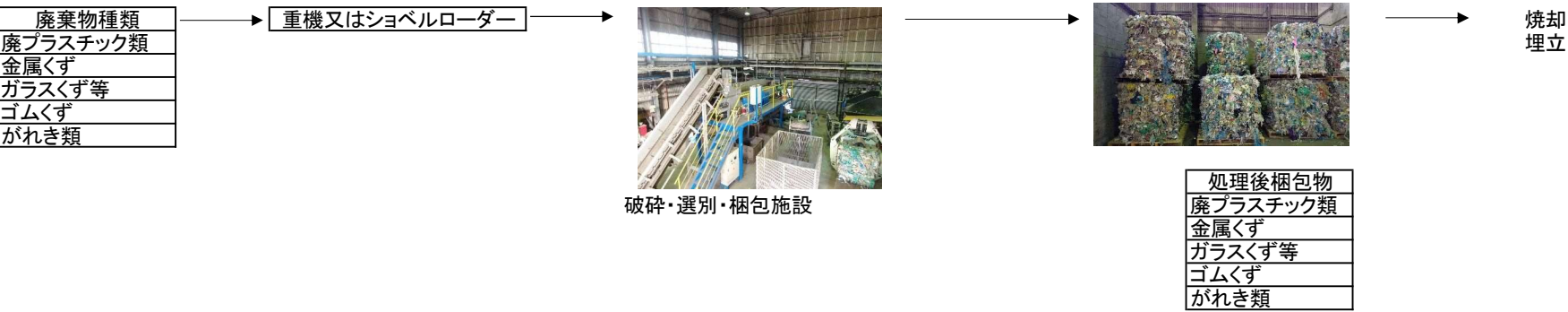


(3)処理工程図②

破碎機フロー図



破碎・圧縮梱包施設フロー



(4) 山口県 島根県 広島県 登録運搬車両一覧

運搬車両一覧				
	施設名	形式・寸法	自動車登録番号	最大積載量
1	運搬（車両）	普通貨物 バン	山口 100す 5371	1, 300kg
2	運搬（車両）	普通貨物 バン	広島 100せ 50	3, 500kg
3	運搬（車両）	普通貨物 キャブオーバ	山口 130さ 131	14, 400kg
4	運搬（車両）	普通貨物 ダンプ	山口 100ふ 111	10, 700kg
5	運搬（車両）	普通貨物 キャブオーバ	山口 100か 9216	13, 500kg
6	運搬（車両）	普通貨物 ダンプ	山口 100す 6438	3, 650kg
7	運搬（車両）	小型乗用車	山口 501も 3577	100kg
8	運搬（車両）	小型乗用車	広島 502ひ 4872	100kg
9	運搬（車両）	普通乗用車	広島 355は 7788	100kg
10	運搬（車両）	小型乗用車	山口 501ひ 3076	100kg
11	運搬（車両）	小型乗用車	山口 400て 3776	350kg
12	運搬（車両）	小型乗用車	山口 400て 3777	350kg
13	運搬（車両）	普通貨物 ダンプ	山口 101ぬ 111	10, 300kg
14	運搬（車両）	小型貨物	広島 400の 159	1, 250kg

計 14台

積替え保管施設

1	面積 70.3m ²	保管上限 34m ³
---	-----------------------	-----------------------

(5) 受託、または受領した廃棄物、再生資源等の処理量等

(1) 産業廃棄物

(i) 収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
燃え殻	t	9.10
廃プラスチック類	t	119.81
汚泥	t	21.15
廃酸	t	0.86
廃アルカリ	t	1.54
金属くず	t	2.56
ガラス・コンクリートくず	t	0.71
感染性廃棄物	t	330.42
合計	t	477.05

(ii) 中間処理

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
中間処理		汚泥	焼却	t	702.38
		廃油	焼却	t	9.52
		燃え殻	焼却	t	12.54
		廃酸	焼却	t	0.67
		廃アルカリ	焼却	t	0.07
		廃プラスチック類	焼却	t	3,544.09
		紙くず	焼却	t	81.37
		木くず	焼却	t	66.79
		動植物性残さ	焼却	t	231.59
		繊維くず	焼却	t	62.94
		金属くず	焼却	t	125.11
		ガラス・コンクリートくず	焼却	t	36.46
		動植物性固形不要物	焼却	t	27.78
		感染性廃棄物	焼却	t	3,928.98
		特管廃油	焼却	t	1.05
		金属くず	破碎	t	1.49
	再資源化等	廃油 廃酸 廃アルカリ 廃プラスチック類 紙くず 木くず 動植物性残渣 家畜のふん尿 動物系固形不要物 燃え殻 汚泥 繊維くず 動物系固形不要物 ガラス 金属くず 感染性廃棄物 特管廃油	焼却（発電）	t	8,831.33
		小計		t	8,831.33
		合計		t	8,832.82

(iv) 中間処理後の産業廃棄物（最終処分・中間処理・再資源化等）

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等
産業廃棄物の中間処理後の（中間処理・再資源化等）	最終処分	燃え殻	埋立（委託）	t	1,173.98
		ばいじん(有害)	安定化処理後埋立（委託）	t	454.22
				t	
				t	
		小計		t	1,628.20
	中間処理・再資源化	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量等
		金属くず	再生(委託)	t	2.04
				t	
				t	
		小計		t	2.04
	合計			t	1,630.24

(2) 一般廃棄物

(ii) 中間処理

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量・処分量
中間処理	再資源化等	可燃ごみ			
		不燃ごみ			
		廃プラスチック	焼却	t	4,190.21
		可燃物	焼却	t	96.61
		汚泥	焼却	t	11.39
		木くず	焼却	t	76.64
		可燃ごみ 廃プラスチック 汚	焼却（発電）	t	4,374.85
		小計			4,374.85
		合計			4,374.85
		中間処理後の最終処分			
		合計			

作成年月日	環境管理責任者	作成者
令和5年8月4日	井田	秋枝

4. 令和5年度及び中長期 環境目標

環境目標		単位	基準値 (基準年度)	令和5年度 目 標	令和6年度 目 標	令和7年度 目 標
1	二酸化炭素総排出量の削減 ※1	kg- CO ₂	1,392,432 (R2年度)	-	-	-
	1-1 購入電力使用量の削減	kWh	1,666,640 (R2年度)	1,649,974 (△1%)	1,641,640 (△1.5%)	1,633,307 (△2%)
	1-2 重油使用量の削減	リットル	24,505 (R2年度)	24,468 (△0.15%)	24,456 (△0.2%)	24,444 (△0.25%)
	1-3 軽油使用量の削減	リットル	49,495 (R2年度)	49,396 (△0.2%)	49,371 (△0.25%)	49,347 (△0.3%)
	1-4 ガソリン使用量の削減	リットル	6,957 (R4年度)	6,943 (△0.15%)	6,943 (△0.2%)	6,940 (△0.25%)
2-1	自社発生廃棄物の削減 (紙購入量の削減)	kg	260 (R2年度実績とする)	259.48 (△0.2%)	259.22 (△0.3%)	259.09 (△0.35%)
2-2	受託廃棄物のリサイクル率		サーマルリサイクル＋マテリアルリサイクルへの検討			
3	総排水量(使用水量)の削減	m ³	46,806.80 (R1年度)	46788.08 (△0.04%)	46783.40 (△0.05%)	46778.72 (△0.06%)
5	会社周辺の清掃	実施回数	2回／週	2回／週	2回／週	2回／週

※ 1 購入電力の二酸化炭素排出係数は、中電の平成24年度の0.738kg-CO₂/kWhから平成26年度の0.709kg-CO₂/kWhに変更。

5 令和5年度の環境活動計画

1 二酸化炭素総排出量の削減

1-1 購入電気使用量の削減（目標：1%削減）

- ・休憩時間等照明の一部消灯（LED 照明への転換）
- ・長時間不使用の場合はパソコン等の電源 OFF またはスリープ。
- ・エアコンの省エネ温使用。（設定温度シール貼付、消し忘れ機能併用）
※但し熱中症予防など体調管理を最優先とする。
- ・蒸気発電機の安定稼働。
- ・設備更新時の省エネ機器選定。

1-2・3・4 燃料の使用量削減

（目標：重油、ガソリンの 0.15%削減、軽油の 0.2%削減）

- ・工場内のリフト、重機類、収集運搬車の環境負荷軽減措置運動実施。
（アイドリングストップ、空ぶかし・急発進・急加速をしない、
安全速度の履行、過積載の禁止）
- ・車両の定期点検を確実にし環境負荷のないよう配慮する。
- ・車両・重機を購入時は省エネ、低燃費なものとする。
- ・営業車は走行距離抑制の為、各自で効率の良い訪問計画を立て実施する。

2 自社発生廃棄物の削減

2-1 事務所内から発生する廃棄物の削減（コピー用紙購入量の削減）

- ・コピー用紙の裏紙を使用。
- ・テスト印刷等は極力減らす。不要 F A X の削減。
- ・パソコンによるペーパーレス化の促進（提出書類の電子化）。

2-2 受託廃棄物のリサイクル率

- ・中間処理（焼却）に対してのリサイクル率の向上（リサイクル事業の拡充を図る）。
- ・受入廃棄物の再選別と選別の細分化【目標】

3 総排水量（使用水量）の削減（目標 0.04%削減）

- ・節水ステッカーを取り付け励行する。
- ・こまめに蛇口を閉める。
- ・洗車時の節水に心掛ける。
- ・配管、設備からの漏水対策。

※但し火災予防の為の放水は適宜実施する。

5 会社周辺の清掃

- ・会社内外の清掃を行う。
- ・定期的に廃棄物搬入経路での不法投棄の監視

6 令和5年度 環境目標実績

環境目標			単位	基準値 (基準年度)	令和5年度 目 標	令和5年度 実 績	対基準年度増減 %	評 価
1	二酸化炭素総排出量の削減※1		kg- CO ₂	1,392,432 (R2年度)	—	1,416,427	—	—
	1-1	購入電力使用量の削減	kWh	1,666,640 (R2年度)	1,649,974 (△1%)	1,733,256	4.00	×
	1-2	重油使用量の削減	リットル	24,505 (R2年度)	24,468 (△0.15%)	21,707	△ 11.42	○
	1-3	軽油使用量の削減	リットル	49,495 (R2年度)	49,396 (△0.2%)	42,112	△ 14.92	○
	1-4	ガソリン使用量の削減	リットル	6,957 (R4年度)	6,943 (△0.15%)	7,997	14.95	×
2-1	自社発生廃棄物の削減 (紙購入量の削減)		kg	260 (R2年度)	259.48 (△0.2%)	345.2	32.77	×
2-2	受託廃棄物のリサイクル率		サーマルリサイクル＋マテリアルリサイクルへの検討					
3	総排水量(使用水量)の削減		m ³	46,806.80 (R1年度)	46788.08 (△0.04%)	49,105.91	4.91	×
5	会社周辺の清掃		実施回数	2回／週	2回／週	2回／週	2回／週	○

※1購入電力の二酸化炭素排出係数は、中電の平成24年度の0.738kg-CO₂/kWhから平成26年度の0.709kg-CO₂/kWhに変更。

※2 ○印は目標達成、△印は削減出来たが目標未達、×印は増加の上に目標未達を示す。

7 環境活動計画の取組結果と次年度の取組内容

1 二酸化炭素排出量の削減



○二酸化炭素総排出量の削減

二酸化炭素の排出量実績 1,416,427kg-CO₂

次年度も計画し取組みを継続する。

1-1 購入電気使用量の削減

- ・目標 1,649,974kWh 以下（基準年度比 1%減）に対し、実績は 1,733,256kWh（基準年度比 4%増）となり目標は未達成。

焼却施設の維持管理により稼働日が前年度よりも増加した結果、使用電力量もそれに伴い増加した。蒸気発電機を修理したことにより運転時間が長くなり発電量は上昇した。

不要な照明、電気機器などのスイッチオフの励行は継続している。

今年度の目標値にて取組みを継続する。

1-2 重油使用量の削減

- ・目標 24,468ℓ以下（基準年度比 0.15%減）に対し、実績は 21,707 ℓ（基準年度比 11.42%減）となり目標は達成した。

焼却設備のメンテナンス時の乾燥工程での使用量を減らした為と思われる。

次年度も取組みを継続する。

1-3 軽油使用量の削減

- ・目標 49,396ℓ以下（基準年度比 0.2%減）に対し、実績は 42,112ℓ（基準年度比 14.92%減）となり、目標を達成。

廃棄物の移動を減らす等効率的な運用を各自が心掛けている結果。

次年度も計画し取組みを継続する。

1-4 ガソリン使用量の削減

- ・目標 6,946ℓ以下（基準年度比 0.15%減）に対し、実績は 7,997ℓ（基準年度比 14.95%増）となり目標は未達成。

遠方の営業地域が加わったことで走行距離が伸びたことが要因。
効率的な営業計画を立てることを目標とする。
次年度も今年度と同じ目標値で取り組みを継続する。

2 自社発生廃棄物の削減



2-1 紙購入量の削減

- ・ 目標 259.74kg に対し(基準年度比 0.1%減) に対し、実績は 345.2kg (基準年度比 32.77%増) となり目標は未達成。新設備の建設に伴う提出書類で使用量が大幅増加した。次年度も今年度と同じ目標値で取り組みを継続する。

2-2 受託廃棄物のリサイクル率

- ・ 受託廃棄物の中間処理
焼却発電 (サーマルリサイクル) 99.98%
- ・ 中間処理後の廃棄物
金属くず(委託) 0.01%
次年度も取組みを継続する。

3 総排水量 (使用水量) の削減



- ・ 目標 46,788.08 m³以下 (基準年度比 0.04%減) に対し、実績は 49,105.91 m³ (基準年度比 4.91%増) となり目標は未達成。冬期の配管凍結による漏水が大きな原因と思われる。現在も応急処置状態の為、次年度内に修理完了をする予定。
次年度も今年度と同じ目標値で取り組みを継続する。

5 会社周辺の清掃



- ・工場周辺の定期清掃は継続して実施している。
 - ・本年度も四半期毎に開催する近隣住民の皆様との「環境推進協議会」にて、工場周辺の河川を中心に出席者同行の上確認している。
- 次年度も取組みを継続する。

環境関連法規への違反、訴訟等の有無



関係する主な環境関連法規は下記の通り。

- ・廃棄物処理法
- ・ダイオキシン類対策特別措置法
- ・大気汚染防止法
- ・消防法
- ・山口県循環型社会形成推進条例

遵守状況は良好、本年度も訴訟等は無し。

次年度も計画通りに取組みを継続する。

来年度の活動について

全ての目標達成はできなかったが、目標値の見直しも含め計画に従って活動を継続する。



環境推進協議会の様子



周辺草刈作業



消火訓練



消火訓練



日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃



海岸清掃ボランティア



周辺清掃



荏田町災害協定調印

8 代表者による全体の評価と見直し

【評 価】

令和5年度はコロナの扱いが前年度迄の5類から2類に変わり、医療系廃棄物量が減少しましたが、その他の受託分を合わせ全体的にはほぼ変わらずとなっております。

環境目標の実績としては、未達成ながらも、従業員の自主的な取り組みは進んでいると判断しております。現在は来年予定の新焼却施設が稼働するまで定期メンテナンスをより確実に行い安定した運転に努めることで目標を達成します。

次年度も引き続き従業員への環境経営方針・経営目標の周知徹底を行い、積極的な活動を継続していきたいと考えております。

また近年は自然災害の発生が増えており、当社も災害廃棄物処分に関する協定を自治体様等と締結しております。令和5年度は山口県美祢市において豪雨災害が発生しました。

被害に遭われた皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

美祢市様とは事前に協定締結はしておりませんでした。災害廃棄物の処分支援をさせていただきました。今後も災害時発生廃棄物の処分に対して迅速に対応できるよう注力してまいります。

【見直し】

今年度の未達成の項目は数値の見直しを行います。

その他の環境経営方針、環境活動計画及び実施体制は見直しを行いません。

令和6年6月17日

 **ジェム力株式会社**

代表取締役 松村 孝明